

地域を拓く設計技術



B Big Seminar 2020

3月5日(木) 13:00-17:00

東京ビッグサイト会議棟 605,606号会議室

参加費 (税込)

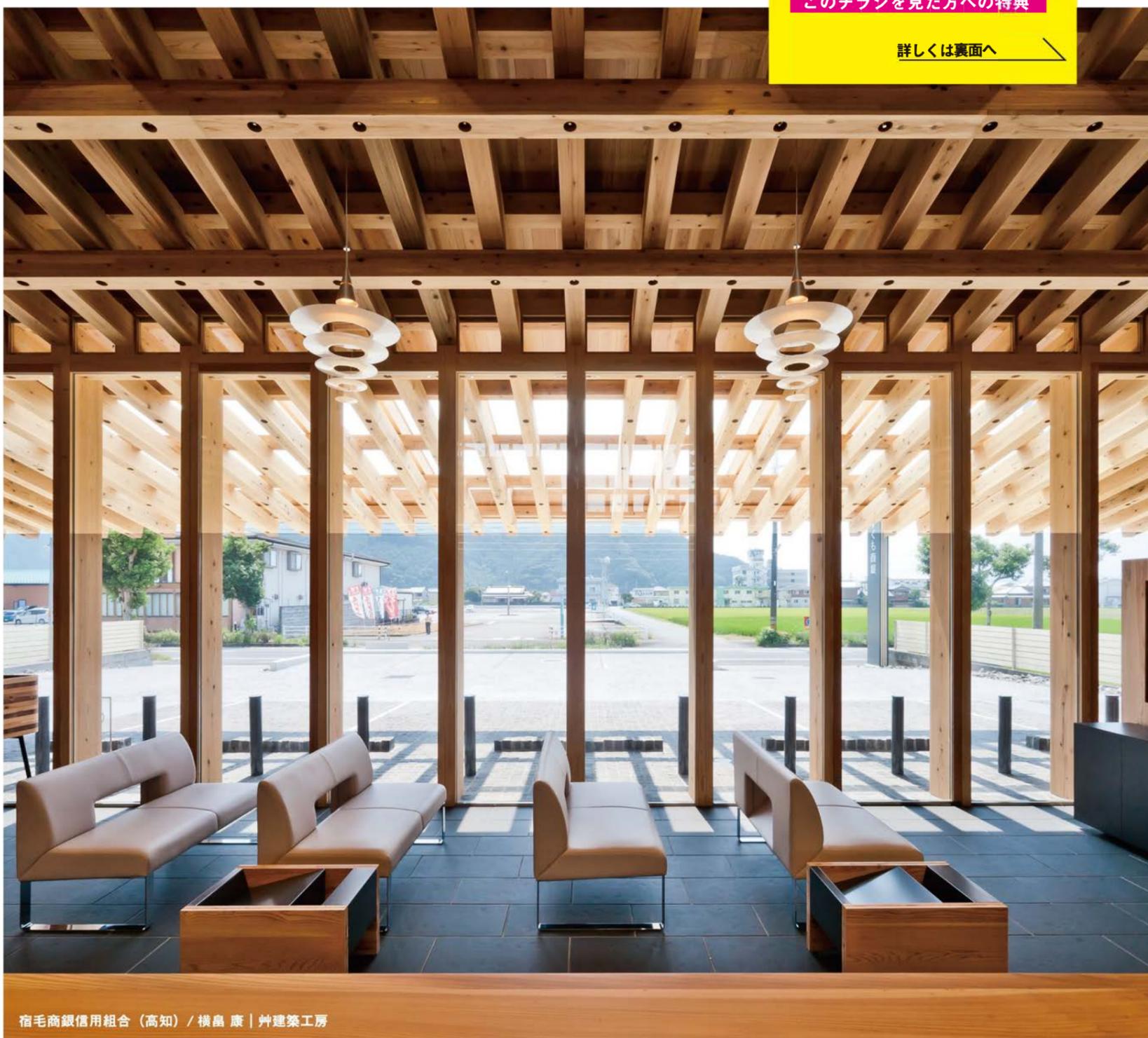
一般: ¥5000

¥1000 OFF

お得意様割: ¥4000

このチラシを見た方への特典

詳しくは裏面へ



宿毛商銀信用組合(高知) / 横島 康 | 舛建築工房

2020年いよいよ実施が開始するパリ協定を前に、今、日本だけでなく世界中で「サステナブル」を問い直す時が来ている。中でも建築は、国土交通省においても「省エネルギー対策の抜本的強化が必要不可欠」とされており、今後国をあげて大きな舵を切られる事が予想される。今の日本においてサステナブルを考える上で、避けて通れないキーワード、「地域」。今年のBIGセミナーでは、その「地域」にスポットを当て、地域材を活用しながら地の利を活かした設計を行う3名の建築家と、各地の林業の今を伝えるジャーナリストにご登壇いただき、建築だけでなく、地域、素材、林業にまで踏み込み、多角的に「サステナブル」を掘り下げていく。本セミナーを通し、建築の、そして地域の今と未来を感じ取っていただきたい。

同日開催
建築・建材展 2020

イケダコーポレーション出展中

夏の断熱に強いドイツ製木繊維断熱材
「STEICO」初お披露目!

主催 Ikeda 株式会社イケダコーポレーション

協賛 (五十音順) 愛媛県産材製品市場開拓協議会 TOSAZAI 一般社団法人高知県木材協会 株式会社泉谷木材商店 株式会社イマガワ

雨のみちをデザインする株式会社タニタハウジングウェア 一般社団法人木造施設協議会 MOC モック株式会社 山長商店 林友ハウス工業株式会社

後援 日刊木材新聞社 Japan Forest Products Journal

Q 現調段階・設計段階でこういった事に注意して進めていますか？また、施主の要望（コスト面も含め）と堀部先生が地域を診て診断された建てるべき建築とかが離があった場合、調整に心がけている事はありますか？譲れないものと、そうでないものなどあればお聞かせください。

A 建築計画時、建て主には色々な欲が膨れ上がっている場合があります。竣工時には満足のいくものになっていても、住み続けていくうちに持て余してしまうことのないよう、設計の力でなるべくコンパクトに、過不足のない規模、コストに着地できるように施主と一緒に調整を続けることに心がけています。



竹林寺 本坊

堀部安嗣

堀部安嗣建築設計事務所

1967年神奈川県横浜市生まれ。1990年筑波大学芸術専門学群環境デザインコース卒業。1991-1994年益子アトリエにて益子義弘に師事。2002年第18回吉岡賞を「牛久のギャラリー」で受賞、2016年日本建築学会賞（作品）を「竹林寺納骨堂」で受賞。

Q

中大規模木造を取り組むにあたって「C」を斬新的にご採用されていますが、横島先生が思う「C」のメリット・デメリットをお教えてください。

A CLTはコスト高と言われていますが、最大3m×12mのサイズ感は無二で、大判を活かした建築、部材点数・施工時間を省略化した建築など、これまでにない建築への可能性もあり「非木造の木造化」への原動力も持ち合わせています。木・コンクリート・鉄の全ての要素がどこかミックスしたような不思議な素材、ときにコストバリューでは置き換えることのできない建築素材としてオモシロク向き合っています。



香南市総合子育て支援センター「にこなん」

横島 康 有限会社社建建築工房

1979年高知県生まれ。高知県立林業大学非常勤講師。第21回木材活用コンクール 全国木材組合連合会会長賞、平成30年度木材利用優良施設コンクール 農林水産大臣賞 受賞。

Q

ご自宅をオフグリッドで建築されたきっかけと、今後の仕事に活かしていきたい点を教えてください。

A

エネルギーのことを浮ついた気持ちで取組んではいけないと常々思っています。オフグリッドにすることは決して効率の良い選択肢ではありません。ライフラインは地域単位で考えるべき問題だと思っていますが、そこまでを前提条件にしてもエネルギーを自立させることの難しさを感じることで、そして制限を設けることで見えてくる自然の素晴らしさを自身で経験することが大きな目標でした。豊かさとは何かを自問し、より骨太で質実な建築を造っていきたくと思っています。



大町の家

佐藤 欣裕 もろくす建築社／佐藤欣裕建築設計事務所

1984年秋田県美郷町生まれ。独学で建築を学ぶ。第一回日本エコハウス大賞2015大賞、18回 JIA 環境建築賞住宅部門 最優秀賞など環境建築分野を中心に活動。

Q

3名の先生方に対し、林業視点から要望があれば、是非この機会にお聞かせください。

A

日本の大部分の地域では、温暖で湿潤な気候条件の下で、さまざまな樹種が生育する多様な森づくりを実現できる可能性があります。現在、日本の林業は深刻な採算難に陥っていますが、このような恵まれた自然条件を生かし、自然の力を利用しながら、木々を伸び伸びと育てていくことが苦境を脱する有効な手立てになるのではないかと考えています。個性にあふれた魅力的な日本の木を建築にどんどん取り入れていただき、林業の将来をともに切り開いていただければと思います。



赤堀 楠雄 林材ライター

1963年生まれ、東京都出身。林業・木材産業界専門新聞社勤務を経て、1999年よりフリー記者として、森林・林業・木材・木造建築などに関する取材・執筆活動に従事している。2010年からは長野県上田市の山間集落に在住。

開催概要

日時：2020年3月5日（木）13:00 - 17:00（受付 12:30～）
セミナー終了後懇親会兼名刺交換会あり
※参加費別途・お申し込みの方に後日詳細ご連絡

場所：東京ビッグサイト 会議棟 605,606 会議室
定員：200名（先着順）

内容：【1部】建築家3名による講演
【2部】講師 / 来場者による参加型パネルディスカッション

参加費：一般 ¥5,000（税込）
お得意様割 ¥4,000（税込） **詳細は右欄参照**

お支払い方法：

- ・クレジットカード
- ・コンビニ / ATM 払い（お支払後のキャンセルは手数料 500 円）

CPD4
申請中

このチラシを見た方への特典

■Peatix（チケットサイト）よりお申込みください

スマートフォン・
タブレットから



PC から

ビッグセミナー 2020



お得意様割
1000円 OFF

割引コード
『otokuisama』（オトクイサマ）を入力